

令和元年度第2回和歌山市子ども・子育て会議

1. 日時：令和元年8月8日（木）10:00～11:30
2. 場所：和歌山市勤労者総合センター4階 大会議室
3. 会議次第
 - 1 開会
 - 2 福祉局長挨拶
 - 3 議題
 - (1) 第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について
 - (2) その他
 - 4 閉会
- 4 会議資料
 - 和歌山市子ども・子育て支援事業計画（骨子案）
- 5 参考資料
 - 参考資料1 子ども・子育て支援事業計画の見直しについて
 - 参考資料2 幼児教育・保育の無償化に関する通知文

1 開会

事務局

定刻となりましたので、ただいまより令和元年度第2回子ども・子育て会議を開催します。本日の会議は委員20人のうち15人の委員の出席をいただいておりますので、和歌山市子ども・子育て会議条例第6条第3項の規定に基づき、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

2 福祉局長あいさつ

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。今回は2回目ということで、第1回目のご意見を参考にしながら、資料の作成など検討をさせていただきました。今日は、2期計画の骨子案についてご説明させていただきます、ご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【会議資料確認】

事務局

資料の訂正、事業計画骨子案の22ページ 8「子供の生活実態調査結果にみる状況」と訂正をお願いします。

3 議事

会長

調査の分析結果が整ってきている状況になっていますので、考察いただいてご意見いただけたらと思います。

幼児教育・保育の無償化が始まります。私から、和歌山市の取り組み状況について説明を賜りたいとお願いしていますので、ご説明いただいて、皆さまよりご意見を賜りたいと思います。

本日の議題は、骨子についてです。ご説明いただいて、皆さまのご意見をいただきたいと思います。

(1) 第二期子ども・子育て支援事業計画（骨子案）について

事務局

【骨子案について資料に基づき説明】

【幼児教育・保育の無償化について資料に基づき説明】

会長

計画策定の体系と趣旨が述べられました。市の計画はどのような法的根拠にもとづいてたてられているのが2ページ目に記されています。また、関連計画については、1期計画との違いは、子どもの貧困対策大綱と子どもの貧困対策に関する法律が制定されたことですね。また、計画の中身についても、貧困対策の施策をどのように行っていくかを議論することになると思います。

2章は、この間の和歌山市の状況が記されています。人口減と少子化、生産年齢人口の減少、20代、30代の女性の働く意識の変化などが示されています。差し替えの資料にありました進捗状況については、子ども子育て支援事業計画の1期計画について、行政の施策が6つの基本目標に従って策定されています。施策数として示されています。

最近、行政は数値化、見える化で達成目標、達成率を示すことが求められています。和歌山市はすべての施策について数値に基づいて検討が進められていると思います。これは自信をもってよいと思います。

7のニーズ調査結果による状況について、補足をお願いします。

事務局

【骨子案の「7 子ども・子育てに関するニーズ調査結果にみる状況」について説明】

会長

今のところで、何かご意見、ご質問はありますか。無ければ、次の幼児教育・保育の無償化についてご説明をお願いします。

事務局

【幼児教育・保育の無償化について資料に基づいて説明】

会長

ポイントは6の進捗状況と、7の課題についての意見かと推察します。説明全体について、皆さま方から、ご意見、質問はありますでしょうか。また、ありましたら後程で結構ですので頂けたらと思います。

それでは、6の進捗状況、7の課題についてご意見をうかがいたいと思います。調査結果がでてきて、現状と課題が明らかになってきました。皆さまからご意見をいただきたいと思います。

孤立ということはかねてより言われています。一方で、地域子育て支援拠点も整備されてきていますが、

このあたり、ご意見はありませんか。

委員

子どもの数が減ってきていることから、利用者が減ってくるだろうといわれています。来られるお母さんたちは、子どもはあまり小さいときは外に出すことに不安を感じています。同じマンションに住んでいても、お母さん同士のつながりがなく、孤独なお母さんが多いと感じます。どうすれば周知ことができるのか、集まれる場を求めているお母さんたちは多いです。来れば安心すると言われます。

委員

相談する場所がないというのは、市外から転居してきたり、嫁いできた人はしかたがないですが、「ひろば」や保健所で親が相談できるということを知らないお母さんが多い。「ひろば」は子どもが遊びに行く場所というだけでなく、親が相談できる場所、親の居場所でもあるということを知ってほしい。

会長

ニーズ調査結果にみる状況の（6）に相談窓口の利用と認知とあるが、行政サービスは縦割りで、どこに行ったらよいかわからないとか、たらい回し的な指摘がありがちですが、国の方針で包括支援をいうようになってきています。和歌山市も包括支援センターを設置したり、子育てコンシェルジュなど一体的な子育て支援の情報提供に取り組んでおられます。取組状況や課題などがありましたら、担当課の方、お願いします。

地域保健課

子育て世帯包括支援センターについては、平成28年10月から市内4保健センターで開設しています。徐々に相談件数が増えてきており、30年度では電話が229件、来所が1283件というように、前年度より増えてきています。相談内容は、こどもの発達が一番多い状況です。妊娠届出時からかわり、アンケートと聞き取りをして、支援が必要な妊婦さんを把握し、フォローしています。

会長

予防的なアプローチをはかろうというのはリスクを回避しようという取り組みですね。引き続き、よろしくお願いします。

委員

孤立という意味では、外国の方の子どもが増えてきて、言葉でも問題。多国籍でフィリピンや欧州の方などもいて、孤立しています。国の方針でもあるように、外国の方のご子息への相談窓口があったほうがよいと思います。

貧困ということでも、シングルマザーの孤立が多いように感じます。集中というか、ピンポイント的な施策があってもよいと思います。

会長

地域活動の参加では、自治会や地域組織への参加は減少しているように感じますが。民生委員の方は地域の実態からみてどうでしょうか。

委員

働くお母さんが多くなっています。働いて、毎日の生活で精いっぱい。急にご不幸がある、急に下の子の高

熱がでたというときなどSOSをだしたいとき、保育園に行っていれば市に連絡してもらえます。地域が支えという意味では、「きしゅう君の家」のように、退職した人が子育て支援員という看板を掲げて、急なことがあったとき、子どもをみてほしいというときにすぐに対応できるのがいいと思います。私たちも子育ての先輩だし、どこに相談すればいいかもわかります。民生委員は75歳が定年。まだまだお役にたてると思います。小学校へは月に1回訪問し、子どもたちの宿題をみています。

委員

私も民生委員です。広範囲も大事ですが、小コミュニティで相談にのれる人を知ってもらうことが大事です。民生委員は731人の定員で活動していて、101年を超えた歴史ある制度ですが、周知が足りない。知らない人が多いです。私たちは民生委員であり、児童委員でもある。子どもに対応する活動をしています。知られていません。マンションなどの集合住宅に住んでいる若いお母さんたちは、制度について知らないという実態があります。私たちも周知を広げていくことを考えていく必要があると思います。

副会長

包括支援センターの制度はありますが、助けてくれるということは地域によって違う。旧市内は空き家が多く子どもが少ない。民生委員がいても、敷居が高い。民生委員のように助けてくれる人がいるということが子育て世代にわかるようにしておけば、安心できると思います。若いお母さんたちは、情報はしっかり収集している。実際に交流できる場があればよくなると思います。

会長

社会福祉協議会の小地域福祉ネットワークについては、身近な生活圏で支え合う仕組みになっています。引き続き検討したいと思います。

若竹学級についてもお伺いしたいと思いますが、ニーズが高いですね。かつては小1プロブレムといわれました。保護者の半数以上は5年生以上の利用を望んでいるということですが、高学年利用のニーズや現状についてお伺いしたいと思います。

青少年課

若竹学級は、5月末で3541名が利用しています。5年、6年は239名が利用しています。割合は低学年のほうが多いです。指導員の言葉では、高学年になっても親は安心安全のために預けたいが、子どもは習い事や友達関係で、親の考えと子どもの意思にズレがある。子どもは自分の居場所をほかにみつけないと考えているようです。

会長

ニーズ調査の結果は保護者の意向なので、高学年も高くなっています。子どもの実態とは違うということですが、施策は親のニーズにあわせて考えていくということだと思います。

委員

コーディネーターとして5、6年生のところをまわっていますが、高学年についても待機児童をださないようにしています。しかし、施設の確保が課題です。以前は寡婦連がプレハブで子どもたちをみていました。若竹学級に移行しても、そのままの施設を使っています。学校の空き教室を借りたりもしていますが、新しく建てるのは予算的に難しい。新しい藤戸台小学校では新しくつくりました。ほかでは、地域のコミュニティスペースや特別教室を貸してもらっています。私も学校に勤めていましたが、学校の空き教室は、あるようではありません。特

別支援学級が増えていたり、いろいろな使い方をしています。会議室もありません。学童保育には面積の基準がありますが、子どもたちは何もないところに居るわけではありません。ランドセルを置いたり、水筒を置いたりしています。足の踏み場もないような学校もあります。

私たちは指導員の資質向上のためにまわっていますが、月に1度で、私がいくと身構えられます。子どもへの対応もふだんと違います。若竹学級は、学校と同じではありません。兄弟が少ないなかで、子どもたちはもまれて育っています。学校と違って、素の自分ができる。そうしたことを考えると、指導員の数が少ないです。指導員も所得の関係で毎日来られない人もいます。時給も安く、健康診断など労働条件でも守られていません。避難訓練も必要です。指導員がしていることは学校と同じです。指導員は教諭ではありませんが、保護者にとっては、学校の先生と同じです。費用も払っています。

また、女性の社会進出が必要だとは思いますが、働いて帰ったあと、親が子どもとしっかりとふれあうことが大切です。でなければ、子どもたちの社会性が育たない。愛情不足で育っていきます。愛情を十分に受けていない子どもが増えているように感じます。指導員に抱き着く子供がいます。

会長

放課後児童クラブには国が運用基準を示していますが、子どもが過ごすための一定の面積が必要です。人の確保も必要ですし、指導員のかかわり方、親との関係など、制度の充実をはかることも必要だと思います。ほかにご意見いかがですか？

委員

市の幼稚園の充足率は50%ということですが、一方で待機児童がいるのはなぜですか。

若竹学級で4年生以上が4倍に増えているということですが、増えてこの人数になっているのでしょうか。

会長

どのページですか。

委員

12ページです。

こども未来部長

充足率50%というのは幼稚園ですが、長時間保育してほしいというニーズが高くなっています。幼稚園は保育を必要としない子どもを預かっているので充足率が50%となっています。民間の保育所は預かり保育をしてカバーしているので減ってはいますが、横ばいになっています。公立幼稚園は預かり保育をしていないので、こういう傾向となっています。

委員

そこは、改善しないといけないのでは。

部長

今後は、幼稚園の認定こども園化を進めていくなどの対策をしていこうと計画しています。来年度、本町幼稚園と中之島保育所を統合して本町認定こども園にし、芦原幼稚園を芦原認定こども園にし、保育園と一体的にしようと進めています。

委員

今後、充足率は上がるのですか。

部長

幼稚園は今後も下がっていくことになります。

会長

3章、4章について審議するのを忘れていました。後半の3章、4章についてもご説明をお願いできますでしょうか。

事務局

【骨子案3章、4章について説明】

第5章の教育・保育の提供区域は現行と同じ6圏域に設定します。

2～4については、量の見込みを精査中ですので、あわせて次回の会議で提案します。

会長

施策の全体はこれからということですが、今の説明に対して質問はありますか。1期計画を検証し、どのように2期計画を充実させるかということになります。どのあたりに重点をおくか、2期のポイントはございますか。

事務局

35ページの子どもの貧困対策の充実ということで、あらたに章立てをしています。重点ポイントと考えています。先ほどご意見もいただきましたように、32ページにあります、海外にルーツをもつ子どもと家庭への支援についても必要だと考えています。

会長

次回に向けて検討するということですね。4の幼児期の教育・保育の一体的な提供にも、貧困対策や外国人の子どものことも入ってくると思います。

全体を通してご意見、ご質問はありますか。

委員

今年10月から幼児教育・保育の無償化が始まりますが、給食費は東京、大阪では行政がすべて負担すると聞いています。和歌山市はどうですか。全体としての金額、予算はどの程度なのでしょうか。

保育こども園課

副食費については、これまで保育料に含まれていましたが、これが外にでます。国によると、4500円が副食費にあたるということです。和歌山市でもこれは外にでます。年収360万未満の世帯、第3子以降は副食費も無償化ということになります。東京は副食費は無償ということですが、和歌山市は費用がかかるという状況になっています。

委員

副食費の金額で和歌山市全体ではどうですか？

保育こども園課

今は、施設型給付として加算として支払われている。全体でどの程度になるかということは、資料を持ち合わせていません。

会長

調べればわかるということですか？

保育こども園課

360万円未満の人数について、毎年9月に保育料の改定をするので、具体的な人数がわかりません。

4 その他

事務局

今日配布したなかで意見書の用紙を入れています。ご意見がありましたら、返信用封筒も入っていますので、送付していただけたらありがたいです。

会長

本日の子ども・子育て会議は終了します。

次の会議日程はどうなっていますか。

事務局

今回は10月2週目以降と考えています。

10月後半になります。

5 終了